

# 令和5年度 心を育む学校給食週間の取組み

## ◆実施校数:335校

学校給食を実施している小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校

## ◆実施内容

「おこない」づくり	しっかりした味覚を育て、おいしいものを見分ける力をもつ。 望ましい食習慣と規則正しい生活習慣を身につける。
<p><b>【取組みの特徴】</b></p> <p>地元の食材をふんだんに使った料理や昔から伝わる郷土料理、全国各地の料理や世界の料理等、魅力ある学校給食を味わったり、伝統野菜の栽培を通して、改めて山形の食のおいしさを実感したりする取組みが多かった。</p> <p>他に、日常生活習慣(特に朝ごはん)や食事のマナー(姿勢・食べ方・箸の持ち方・食器の返し方等)について楽しみながら自己評価して日々の食生活を振り返る取組みや、給食とSDGsの視点から、マナーについて考え行動する取組みもみられた。</p>	

## ～県立米沢養護学校 特別給食の様子～



11/27(月) 日本(洋食)

- ・ハヤシライス
- ・野菜サラダ
- ・プリン・ア・ラ・モード



11/28(火) 中国

- ・肉まん
- ・担々麺
- ・バンバンジーサラダ
- ・マンゴープリン



11/29(水) フランス

- ・麦ごはん
- ・フイヤベース
- ・ガーリックトースト
- ・ビーンズサラダ
- ・ラ・フランスゼリー



11/30(木) ブラジル

- ・ごはん
- ・ドブラジーニャ
- ・フランゴパッサリーニョ
- ・野菜サラダ ・バナナ



12/1(金) タイ



- ・ガパオライス
- ・ゲーンチュートタオファー
- ・ヤム・ウンセン
- ・パイナップル


## 「おこない」づくり(自己管理能力の育成)取組事例


学校名	天童市立寺津小学校
実施期間	令和6年1月15日(月)～1月26日(金)
<p><b>【児童会活動】</b></p> <p>○カラフル弁当をデザインしよう(全校生)</p> <p>バイキング形式で5色(赤・白・黄・緑・茶)のおかずを自分で選び、彩りよく弁当箱に盛り付ける学習を通して、はしの使い方を確認した。</p>	
	
<p>◎成果</p> <p>「お弁当を作るのって結構大変なんだなあ。」「お母さんって、すごいなあ。」と家族への感謝を述べる児童や、「今度のお弁当日は、自分で本物のお弁当を作りたいなあ。」と自分の生活に活かそうとする児童が多く見られた。</p> <p>食器や弁当箱やおかず等の教材をていねいに扱い、「向きがバラバラだとおいしそうに見えないから、きれいに並べよう。」と他の人のことを考えながら片づけをする児童の姿に、心の育ちを感じた。</p> <p>今回の盛り付け学習はおかずのみを用意していたが、「先生、ごはんもあった方がもっとおいしいお弁当になるよ!」と児童からの声が上がった。そこで、3年生以上の児童を対象に、おにぎりづくり(裏紙利用)を追加した。黒い花紙を海苔に見立てて巻くことで、本物のような仕上がりになり、児童たちに大好評だった。キャラ弁づくりを楽しむ児童もおり、創造力を伸ばすことができた。</p>	

校名	中山町立豊田小学校
実施期間	令和6年1月15日(月)～1月19日(金)
<p><b>【展示の工夫】</b></p> <p>○地産地消をテーマとした展示</p> <p>献立に使われる地元産の食材や生産者を紹介する掲示物を展示するとともに、実際に生産者さんから納品された本物の食材の見本を展示し、児童が給食に使われる食材を直接触れられるようにした。</p> <p>また、水で戻す前の青大豆を各教室に配布し、児童が給食で出された青豆和えの豆の大きさと比較したりしながら味わって食べた。</p>	
<p>◎成果</p> <p>実際に給食で使われる食材を展示したことで、普段スーパーなどでは見られない大きさの白菜や、郷土料理に使われている食材に間近で触れることができ、興味を示す児童が多かった。</p>	



学校名	新庄市立日新小学校
実施期間	令和6年1月15日(月)～1月26日(金)
<p><b>【学校給食の充実】</b></p> <p>○最上传承野菜と旬の地場産物を知ろう</p> <p>地場産物や最上传承野菜を味わい、ふるさとの食材に親しみをもたせるため、「I♡MOGAMI 給食」として新庄市と最上郡の食材を使用した給食を実施した。</p> <p>(使用食材)</p> <p>鮭川村産なめこ、新庄市産くるみ豆・最上かぶ、舟形町産マッシュルーム、最上町産最上牛、金山町産米の娘豚・ブルーベリージャム</p> <p>◎成果</p> <p>最上郡の食材を味わい、楽しむことができた。献立表を見たり、放送を聞いたりして毎日の献立や食材に興味を持ち、食べることへの意欲が高まった。</p>	
  <p>&lt;新庄市産最上传承野菜のくるみ豆を使ったドライカレー&gt;</p>	

学校名	舟形町立舟形小学校
実施期間	令和6年1月22日(月)～1月26日(金)
<p><b>【学校給食の充実】</b></p> <p>○適塩給食の実施 「ごはん 赤魚のレモン風味 ツナ和え 沢煮椀」</p> <p>塩分が少なくてもおいしく食べられるよう工夫した料理を取り入れた「適塩給食」を実施した。給食を食べながら栄養教諭による「適塩について」の講話を行い、小さい頃から塩分を控えた生活を送ることの大切さを知り、塩の量を減らす工夫を伝えた。その後、県健康福祉部作成の適塩リーフレットを児童に配布し、家庭でも話題にできるようにした。</p> <p>◎成果</p> <p>適塩のリーフレットや指導案を活用して講話したことで、子どもたちは塩分に関心を持つことができた。</p>	
	

学校名	遊佐町立遊佐小学校
実施期間	令和6年1月22日(月)～1月26日(金)
<p><b>【地域との連携】</b></p> <p>○心のこもった食パンの提供</p> <p>地域のパン屋さんのこだわりパンをあじわった。ご厚意で、かわいい袋入りだった。</p> <p>◎成果</p> <p>パンのおいしさとかわいい袋に学校中が感動した。「お店に行っておいしかったと言ってくる。」や「ありがとうございますの手紙を書きたい。」という児童がたくさんいた。パン屋さんからのメッセージもあたたかく、心も満たされた。食を通じた心の交流を感じることができた。</p>	
	

学校名	川西町立大塚小学校
実施期間	令和5年12月4日(月)～12月8日(金)
<p><b>【教科との連携】</b></p> <p>○5年生総合学習「米作り」、1、2年生生活科「野菜作り」</p> <p>5年生が総合学習で作った米で、全校生分のご飯を炊いてくれた。そのご飯を一人一人がセルフおにぎりにして味わうことができた。</p> <p>1、2年生が生活科の学習で作ったさつまいもを給食食材として提供してくれたことで、全校でさつまいもを使ったいろいろなメニューを味わうことができた。</p> <p>◎成果</p> <p>自分たちが総合や生活科の学習で栽培した米や野菜を給食で食べたことで、生産者さんの大変さを知り、収穫の喜びやみんなに「おいしい」と言って食べてもらえることの喜びを身にしみて感じたようだった。</p>	

学校名	長井市立長井小学校
実施期間	令和5年12月4日(月)～12月8日(金)
<p><b>【食育の充実】</b></p> <p>○全校朝会での栄養講話</p> <p>栄養教諭と連携して全校朝会で「食品ロス」をテーマに栄養講話を行い、世界や日本の食品ロスの状況を知ったり、自分たちの日頃の給食残食量を知ったりし、食品ロスについての関心を高めた。</p> <p>○学級活動「食品ロスをなくそう！ぺろりんプラン」</p> <p>各クラスで完食の目標と方法を話し合い、食品ロスの削減に向けた実践ができるようにした。</p> <p>◎成果</p> <p>今年度の校内の課題が、どの学年でも給食残食の多さであったことから、給食週間のテーマを「食品ロス」と設定した。テーマを設定し焦点化することで、食品ロスについて関心を高め、実践につなげることができた。</p> <p>「食品ロスをなくそう！ぺろりんプラン」として、自分たちのクラスにあった完食の目標や取組みについて、各クラスで話し合っ決定するようにした。一律な完食の取組みは負担となる児童もいるため、個やクラスに応じて臨機応変な取組みとし、負担感なく楽しみながら取組み、達成感をもつことができた。</p>	

学校名	飯豊町立第二小学校
実施期間	令和5年11月27日(月)～12月1日(金)
<p><b>【食育の充実】</b></p> <p>○栄養講話「給食から考えてみよう SDGs」          栄養教諭による朝会講話「給食から考えてみよう SDGs」で、SDGsとは何かや町の調理場での取組みなどについて学んだ。</p> <p>○「すっから缶」～食べ残しゼロを目指そう～          栄養教諭の講話を受けた後、SDGsの一環として、給食の食べ残しを減らすために、食べ残しが多かったらサンタさんのそののカードにプレゼントを貼っていく取組みを行った。残食の取り扱いについては、個人の特性に配慮して行った。</p> <p>◎成果          栄養教諭による講話では、子どもたちにとって身近な「給食」という視点から、自分たちができるSDGsは何かを考える機会になった。          SDGsの一環として取組んだ「すっから缶」では、子どもたちの興味関心を引き出すことができ、意欲的に取り組む姿が見られた。普段より残食が少なかったと担任からもあったため、個人の特性に配慮しながら、よい取組みを実施できた。</p>	

学校名	高島町立高島中学校
実施期間	令和5年9月・11月
<p><b>【部活動との連携】</b></p> <p>○オーガニック給食献立の実施          「有機米コシヒカリ・いわしの梅煮・もってのほかうまいおひたし、          満天オーガニックいもにい～、牛乳」</p> <p>農業生産部と総合文化部、町の農林振興課がタイアップして高島産有機野菜を使用した給食の献立を考えた。農林振興課の方から高島町の有機農業の取組みなどをお聞きし、給食で提供可能な有機野菜を組み合わせ実際に給食で提供できるような献立(副菜と汁物)を考えた。それを給食で提供し、全校生であじわった。また、農業生産部の生徒は有機農業について調べ、環境の面からSDGsに貢献していることを伝えた。</p> <p>◎成果          部活動の生徒を中心に有機農業について学び、全校生に発信した。有機野菜を使用した給食の献立を考える活動では、栄養バランスも考えながら献立を立てるのは難しかったが、クラスの人や同級生に「おいしかったよ!」と言ってもらい、とてもうれしかった。という感想が多数あった。また、農業生産部の栽培活動では、今年はとても暑い中での草むしり作業などが大変だった。農業の大変さや農家の苦勞を知ったが、自分たちが育てた農産物を実際に給食で使ってもらい、全校生に食べてもらってうれしかったという感想があった。生産から消費の過程を実際に体験することができ、その中で苦勞と喜びを感じることができた。</p>	



学校名	酒田市立東部中学校
実施期間	通年
<p><b>【委員会活動】</b></p> <p>○生活リズムを整える取組み（7月、1月）</p> <p>健康委員会で「朝ごはんをしっかり食べて、生活リズムを整え、元気な毎日を過ごそう」をテーマに、一週間活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジカードによる取組み</li> <li>・朝ごはんについてのスライド作成と校内での上映（右写真→） （校内2か所でエンドレス上映、健康委員生徒がアナウンス）</li> <li>・朝ごはんについてのクイズ</li> <li>・健康委員による朝ごはんについての豆知識の放送</li> <li>・朝ごはん PR デザインの募集 （味付けのりのデザインとなり給食で提供）</li> <li>・「朝ごはんパワーアップ大作戦」（右写真→） （クラスで自分の朝ごはんを振り返る取組み）</li> </ul> <p>◎成果と課題</p> <p>健康委員会が様々な取組みを発信することで、生徒たちの食への関心をさらに高め、全校生徒が楽しみながら取り組むことができた。朝ごはんの摂取率アップの取組みでは、カードやクイズ、スライド上映など様々な方法で、朝ごはんを食べる意欲や栄養バランスの良い朝ごはんを食べる意欲につなげることができたが、朝ごはんを欠食している生徒もみられる。連続した一週間を設定することが難しかった。</p>	



学校名	県立山形盲学校
実施期間	令和5年12月4日（月）～12月8日（金）
<p><b>【家庭との連携・展示】</b></p> <p>○郷土料理募集と給食での提供</p> <p>家庭から郷土料理を募集し、期間中の給食で提供した。 （納豆汁、揚げかきもち、だし、もってのほかのお浸し、冷や汁、芋煮）</p> <p>○食材の触察</p> <p>旬の野菜や形が似ている野菜・珍しい野菜などについて触察を行い、クイズ方式で何の野菜かを当ててもらった。（カリフラワーとブロッコリー・ヤーコンとさつまいも・キクイモとしょうが）</p> <p>また、当日に使用する野菜などの食材を展示し、児童生徒が直接触り、給食への興味・関心を促した。</p> <p>◎成果</p> <p>自分の住んでいる山形県の郷土料理を紹介したり、実際に食材を触察したりすることで、児童生徒の食への関心を促すことができた。</p>	



学校名	県立新庄養護学校
実施期間	令和6年1月15日（月）～1月19日（金）
<p><b>【食育の充実】</b></p> <p>○適塩を知ろう</p> <p>給食主任、学校栄養士、調理師が「適塩を知ろう」の動画を作成し、児童生徒が各クラスで視聴した。県がん対策・健康長寿日本一推進課作成のリーフレット等を活用し、クイズ方式で楽しく学べるよう工夫した。</p> <p>◎成果</p> <p>動画を通して、児童生徒は栄養のことについて興味・関心を持ち、楽しく知識を広げることができた。栄養のバランスを考えて苦手なものも残さず食べたり、適塩を意識し麺類の汁を飲まないようにしたりする等、実践につなげることができた。</p>	

